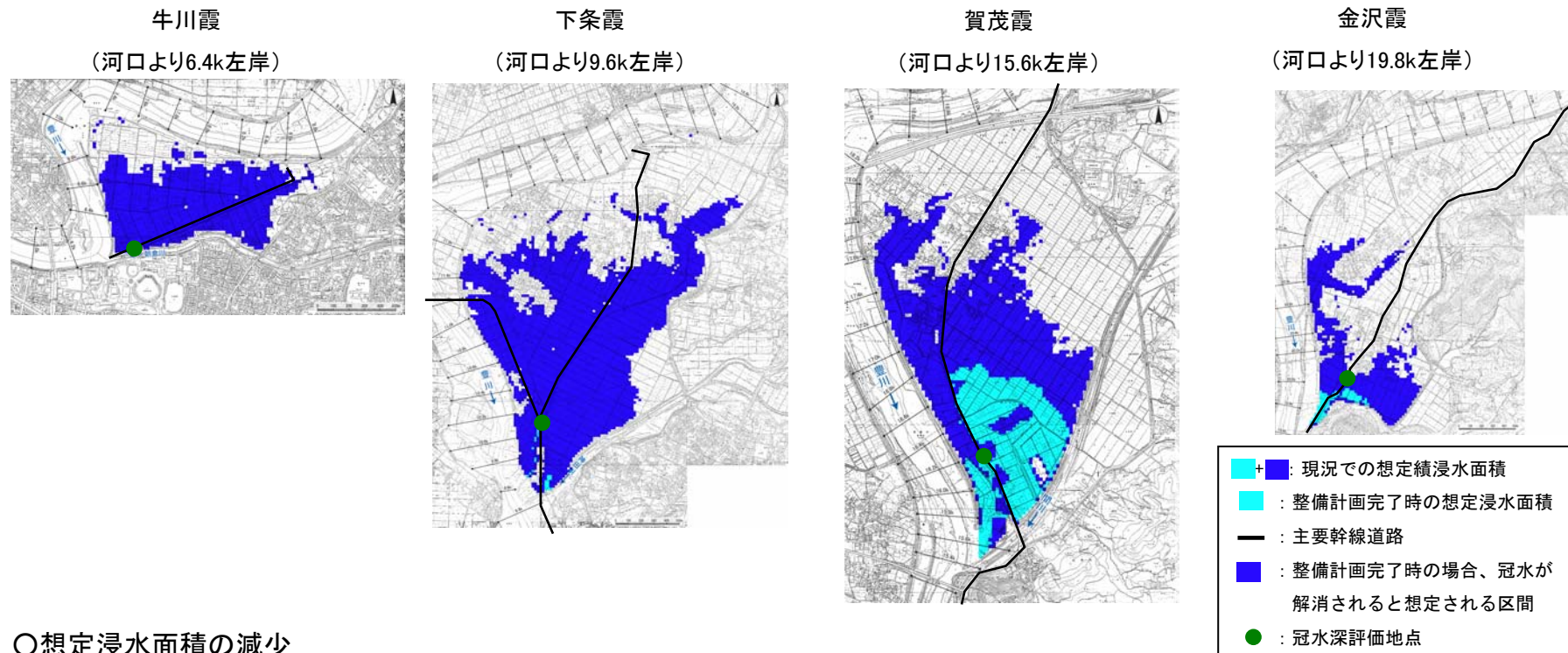


# 整備計画による治水効果の試算について

※本資料の数値等は、速報値を基に計算を行ったものであるため、今後の調査等により変更となる可能性があります。

■ 仮に整備計画(河道改修+設楽ダム)が完了していた場合、  
平成23年9月洪水(台風15号)時の霞地区内の想定被害軽減

床下浸水被害解消(被害の実態及び想定浸水位低下量から類推)



## ○想定浸水面積の減少

<p style="text-align: center;"><u>約60haの減少</u></p> <p>(浸水面積約60ha→想定浸水面積0ha)</p>	<p style="text-align: center;"><u>約200haの減少</u></p> <p>(浸水面積約200ha→想定浸水面積1ha)</p>	<p style="text-align: center;"><u>約130haの減少</u></p> <p>(浸水面積約170ha→想定浸水面積40ha)</p>	<p style="text-align: center;"><u>約30haの減少</u></p> <p>(浸水面積約30ha→想定浸水面積4ha)</p>
---	---	--	---

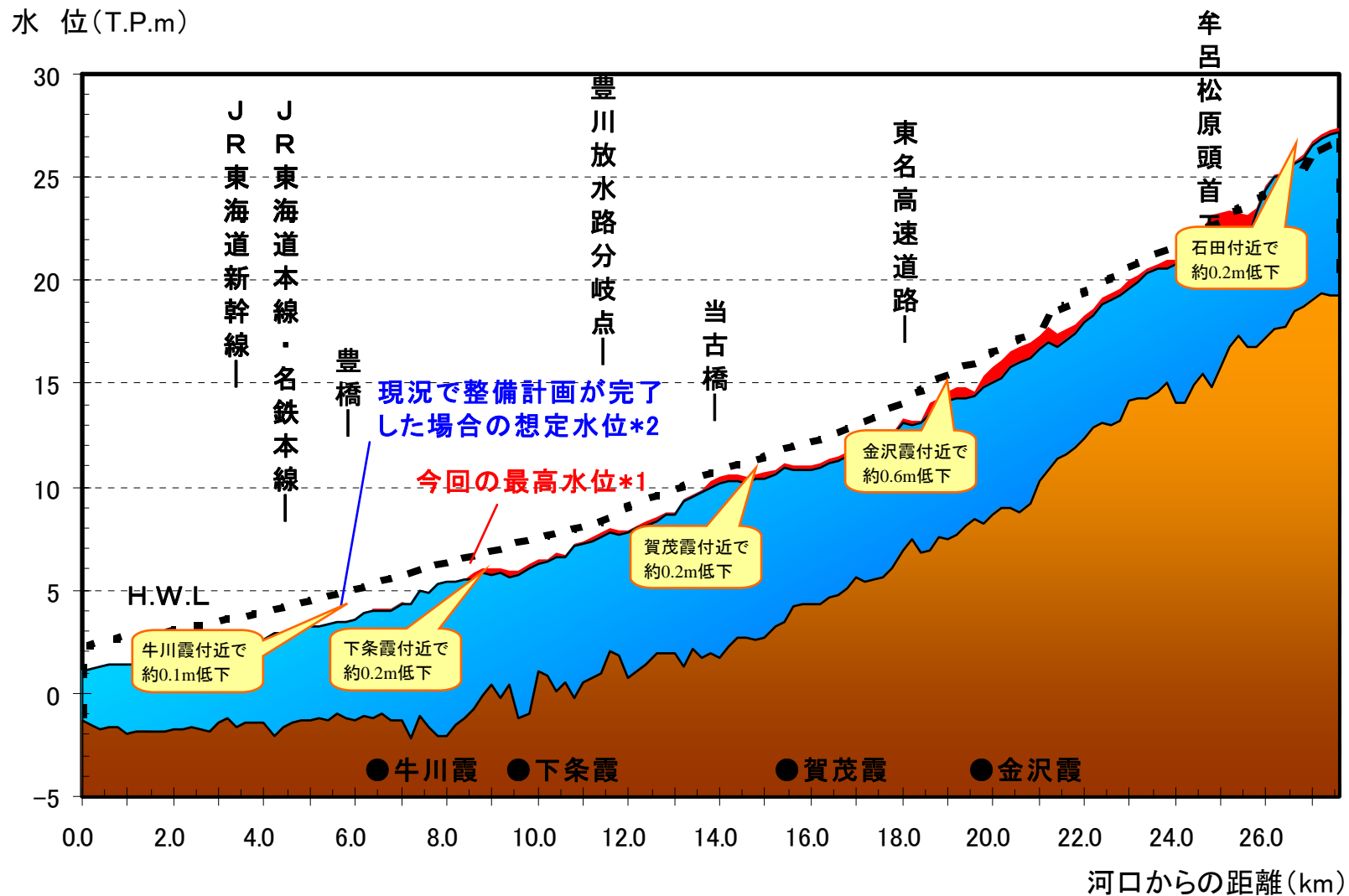
## ○主要幹線の想定冠水区間と想定冠水深の減少

<p>市道 : <u>約120cmの冠水深低下</u></p> <p>全線で冠水無</p> <p>(想定冠水深 約1.2m→約0m)</p>	<p>豊橋鳳来線 : <u>約120cmの冠水深低下</u></p> <p>中条豊橋線 : 交差点が評価地点なので同上</p> <p>全線で冠水無</p> <p>(想定冠水深 約1.2m→約0m)</p>	<p>市道 : <u>約230cmの冠水深低下</u></p> <p>全線で冠水無</p> <p>(想定冠水深 約2.3m→約0m)</p>	<p>市道 : <u>約90cmの冠水深低下</u></p> <p>全線で冠水無</p> <p>(想定冠水深 約0.9m→約0m)</p>
--	--	--	---

※ 豊川水系河川整備計画では、設楽ダムの建設に加え、河道改修等の治水対策を行うこととしています。  
霞堤対策については、牛川霞堤で無堤部を解消、他の下条・賀茂・金沢霞で小堤を設置し、浸水被害の軽減を図ることとしています。

※本資料の数値等は、速報値を基に計算を行ったものであるため、今後の調査等により変更となる可能性があります。

■平成23年9月洪水(台風15号)の水位縦断図(整備計画(河道改修+設楽ダム))



- (\* 1) 今回の最高水位: 洪水終了後に現地で調査した台風15号の洪水痕跡をもとに再現した計算水位
- (\* 2) 整備計画後(河道改修+設楽ダム)の想定水位: 霞堤対策を実施した場合を想定した計算水位
- (\* 3) 平成22年度末河道にて計算